

明治の新津町村制

(大塚 哲 ふるさと歴史講座講師)

明治四十四年四月二十三日付けの『新潟新聞』を見ると、「新津余信」という欄で、新津町の近況を伝え、「莫迦に荷車の多き町、それは新津町の別名也」という書き出しで、町中とてろかまわす荷車が置かれている状況が記されている。



続・ふるさと再発見

その中では、明治時代の新津町が鉄道・道路交通の要衝として、また、商業・石油鉱業等の中心地として急速に発展しながらも、町の整備が遅れていることの象徴として書き立てられているのである。楚牛と号するこの記者は、新津町の当時の最大の課題は能代川の瀬替えと水道の敷設だと言いつ、前にこのことを書いたところが多くの町民から「大喝采を以てて歓迎された」とも述べている。課題も大きかったようである。

町や村の政治は、明治十一年から施行された郡区町村編成法と明治二十一年から施行された町村制により、江戸時代以来の小さな村々が統合され自治体としての形を整えていったが、政府から新潟県知事・中浦原郡長を通じて町村長に伝えられる指示は数多く、厳しい監督の下に置かれていた。当時の町村の財政史料を見ると、国からの課題は増え、町村財政は急速に膨らんでいたことがわかる。地域の課題を解決することはなかなか難しかったようである。そうした中で、日露戦争（明治三十七、八年）は戸数割賦課税を増やし、多額の戦時公債の消化を求め、戦死者を出すなど、最も苦しい時期であったことがわかる。しかし、新津町長鈴木寅五郎（明治三十四年・昭和七年在職）を中心に、町民はこれを乗り越えて次の時代に受け継いでいく。大字ごとにまとまった活

小・中学生の描いた「楽しいまち、夢のあるまち」の絵
「楽しいまち」の絵画を展示します。子どもたちが考える夢のある世界を、ぜひご覧ください。

□とき：7月20日（月）31日（金）
□ところ：市役所1階市民サロン
土・日・曜日は除く。

動やその対立、政党勢力の活発な動きなども興味深いものがある。問題を抱えながらもたくましく発展していった明治の新津であった。※この内容の講座が、七月十九日（日）の午後一時から図書館で行われます。

篤志に感謝します

◇社会福祉事業に 藤東治 後援会事務局：30万円 古山重雄さん（中条町）：3万円 琴春流大正琴愛好会

火災・救急データ

◆火災発生件数9(15) ◆救急車出動件数575(571)
うち建物火災5(4) 交通事故119(102)
焼損棟数13(4) 主 な 一般負傷 51(52)
り災世帯数9(3) 出動原因 急 病288(299)
6月30日現在 ()内は平成3年中
火災のお問い合わせは24・5001・5004へ

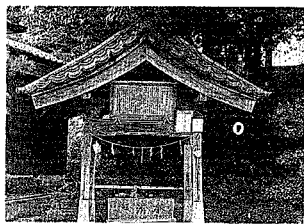
◇新栄学園に 新潟県勤労者福祉厚生財団：5万円
◇新津市遊技業協同組合：25万円
◇型カラーテレビとテレビ台
◇図書館に 一市民：書籍57冊
◇スポーツ振興と青少年健全育成のために 市民ゴルフ大会（佐々木一栄会長）：20万円 新津建友会・五十嵐策二さん：20万円

お買物、ご用命は市内で

旧市役所の前
靴なら何でも揃うイザワ
靴のイザワ
あるく楽しさをお届けする—

お中元にフルーツを……
桃・すいか・メロン etc.
フレッシュで甘い夏の味覚をご贈答にどうぞ。
地方発送承ります。(クール宅急便)
フルーツ & ギフト やまいし 本町2(新光商店街) TEL 23-0397

宝さがし⑬



桜清水(中村)

桜清水は、弘安元年(1278)、中村の鎮守諏訪神社再建の際に湧き出したといわれています。その後、隣りに桜の木があったため、いつとはなしに桜清水と呼ばれるようになりました。現在でも地元の人たちに茶湯などに使われています。

昭和50年12月2日に新津市の文化財として指定された「幸清水」とともに、上水道が完成するまで近郊近在の人々の生活を潤した数少ない泉の一つであり、当時の生活を知るうえでたいへん貴重なものです。

紹介者 山口 学さん(大安寺)